

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 3月18日

【評価実施概要】

事業所番号	4270400890
法人名	有限会社 諫早ケア・サービス
事業所名	グループホームくれも
所在地	〒854-0055 長崎県諫早市栗面町810 - 2 (電話) 0957 - 24 - 0811

評価機関名	特定非営利活動法人ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成21年3月5日	評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】(H20年12月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 3月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 常勤 14人, 非常勤 4人, 常勤換算 17.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	19,800 円	その他の経費(月額)	実費、光熱水費 6,000円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	300 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(12 月 11 日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.5 歳	最低	79 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	満岡内科循環器科・パークサイドデンタルクリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「地域にホームをアピールしていきたい」の施設長の言葉にあるように、地域に定着した恒例行事への取り組みにおける全職員の努力は、地域住民との協働と共に他に誇れるものとなっている。常に開放されている玄関に象徴されるように、外来者を迎え入れる家庭的な明るさが印象的なホームである。そういったおおらかさと共に、入居者に対する職員の対応や清潔で快適な環境維持に努めているホーム内部の様子に細やかさが感じられる。近年は重度化、看取りにおいて積極的に支援がなされている。提携医療機関との密な連携と協力、勤務外の時間でも自発的に終末期の入居者を交互に見守る職員のチームワークによる支援は「一人一人の尊厳を大切に」という理念に沿っており、亡くなられた後の家族との交流の継続にその真摯な取り組みがうかがえる。ターミナルケアによって得るものが大きいという施設長、職員の言葉に更なる質の向上が期待できるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価後に改善計画シートを作成し、迅速に改善に取り組まれた。緊急持ち出し用としての個人管理表、地震時の防災マニュアル、看取りに関する指針が作られ、今回評価に際しては改善計画シートに添付資料としても提出されており、改善へのプロセスと取り組みへの熱意がうかがえた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回同様、今回も職員全員による取り組みがなされている。評価項目を一つ一つ確認することで、基本となる支援ができてきているかを振り返り見直しの機会と捉えており、評価の意義を理解している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	3ヶ月に1回、入居者家族、地区民生委員、市担当職員、地域住民、管理者、職員を参加メンバーとして開催している。ホームの活動報告、入居者の近況報告がなされ、行事に積極的に参加、協力が得られている民生委員、地域住民からは貴重な意見、助言をいただいている。今後2ヶ月に1回の開催を目指し、会議のさらなる充実を図りたいとしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	年に1回、敬老会行事に参加いただいた際に家族会を開催している。家族からは感謝の言葉を多くいただけたが、良い支援であって当然であるという前提をもって、家族からの忌憚のない意見、要望に対する傾聴の姿勢に努めている。家族訪問時に入居者の近況報告を含め、意見、要望をうかがうにあたり施設長が主に対応し、窓口を一本化することで、確実に支援、運営に反映するよう心がけている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	年2回のイベント、夏の納涼祭、年末の餅つきは恒例行事として定着している。地域に大きな行事がないことから近隣住民も楽しみにしておられ、今年度も延べ80名ほどが参加し大盛況であった。民生委員を始めとした地域住民、関連業者、職員の家族の協力もあり、地域交流の大切な機会が継続されている。今年度から老人会ともコンタクトをとられており、入居者との交流、高齢者介護の拠点として地域への発信、貢献に取り組まれることに期待できる。

2. 評価結果 (詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設して5年、看取り支援の経験も重ねる中で「一人一人の尊厳を大切に」という理念が支援に改めて活かされていることが感じられる。入居者一人一人を見つめながら如何に生活を充実させ且つ維持できるかを考え、関わる時間を密に大切に努めている。その日々の生活の基盤として、地域との関わりをホームとして積極的に取り組むことも重要としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	意向の尊重、生活の充実、能力の発揮など入居者の「尊厳」ということを支援にあたって常に念頭に置くよう、ミーティング、日々の申し送りの際は確認をしている。家族に対しても入居時に理念について伝えている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	年2回のイベント、夏の納涼祭と年末の餅つきは、定着している。地域に大きな行事がないことから、近隣住民も楽しみにしておられ今年度も延べ80人近い方々が参加、大盛況であった。職員の家族、関連業者、地域の方の協力もあり、地域交流の大切な場が継続されている。今年度は老人会との交流も始まり、地域の高齢者介護の拠点として今後の取り組みが期待される。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員各自で全項目に目を通し気付きを挙げ、職員会議を通して最終的に管理者がまとめる形で、今年度も全員で取り組んだ。改善計画シートを活用し、真摯に改善に取り組む、評価項目において基本を抑えることができているかという見直しの機会と捉え、緊張感を持って更なるサービスの向上を目指すとして、評価の意義と活用を理解している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回、入居者家族、地区民生委員、市担当職員、地域住民、管理者、職員を参加メンバーとして会議を開催している。ホームの活動報告、入居者の近況報告がなされ、行事に積極的に参加、協力を得られている民生委員、地域住民からは貴重な意見、助言をいただいている。今後2ヶ月に1回の開催を目指す、会議の活用を図りたいとしている。		

グループホーム くれも

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議を通じて顔馴染みの関係が築かれており、入居者に関する公的制度について連絡、相談をおこなっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回、「くれもだより」を発行し、活動報告、行事予定を伝えている。毎月の利用料支払い時に家族がホームへ来られた折や、面会の都度に入居者の近況報告をお伝えしており、面会の少ない家族へは請求書と共に個別に手紙で報告している。受診結果については詳細に伝えるよう配慮している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回、敬老会行事に参加いただいた際に、家族会を開催している。家族からは感謝の言葉を多くいただけるが、よい支援であって当然であるという前提をもって、忌憚のない意見、要望に対する傾聴の姿勢に努めている。入居者の近況報告も含め、要望、苦情を何うにあたり施設長が主に対応し、窓口を一本化することで確実に支援、運営に反映するよう心がけている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間での異動はなく、顔馴染みの関係を大切にしている。定年などで退職があったり、新規採用があった場合は、その都度入居者、家族へは面会時に紹介しており、家族も参加する敬老会の折にも改めて全職員の紹介をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	多忙な時間の中でも職員の発想の転換が図られ、支援のレベルアップに反映されることは大切と施設長は認識しており、外部研修参加を奨励している。今年度も複数名、管理者研修を始めとする外部研修に参加し、今回は参加できなかった職員も報告により向上意欲を触発されている。内部研修もミーティングにおいて伝達講習を含め取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	知己の事業所との交流はなされてきたが、市内のネットワーク参加は見送っていた。今年度は運営推進会議においても質問、助言が挙げられたこともあって、参加に向けて検討に入っている。		地域情報の収集や、研修会、管理者のみならず職員間の交流など、ネットワーク参加によって当ホームのニーズに沿った活動に取り組み、更なるサービスの質の向上に活かされていくことに期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>口コミによる評価を得て入居希望として見学に来られる方も多く、見学、面談後に納得の上入居いただいている。入居開始後は、強制することはないようにその方のペースに合わせた支援に配慮して、馴染んでいただくよう努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>少しずつ状態が変化し機能的に厳しい状態になられていく入居者もおられるが、支援において励まし共に頑張る職員にとって、残された能力において少しでも可能性が新たに見つかった時は喜びを共有できることに感謝の念も覚えている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の態度や会話により本人の希望することを察知できるように心掛けている。ケアカンファレンスの前に変化、意向を把握している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意向に加え、ミーティング時の職員の意見交換や業務日誌などの記録を反映させて介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の短期目標設定は3ヶ月間であり、見直しや状態変化に対しては柔軟に対応できる計画となっている。</p>		

グループホーム くれも

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人内のデイサービス施設において、歩行訓練を受ける支援がなされている。受診支援を始め、自宅への送迎支援、冠婚葬祭などの特別な外出支援もなされており、ことに今年度も家族の結婚式への列席参加への支援が予定されており本人、家族から喜ばれている。また希望時、必要時には家族の宿泊(布団貸し出し・食事の提供可)もできる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への継続した受診支援がなされている。あわせて重度化、終末期にも対応すべく提携医との医療連携や月に2回の往診もおこなわれ安心が得られている。また、受診結果はかかりつけ医より直接施設長に報告されることもあり、ホームとの密な連携が窺えた。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	昨年評価に基づき、早急に取り組みがなされ「看取りに関する指針」を作成し、ホームとしての方向性、支援の具体的内容、体制について明示されている。今年度も看取りの事例があり、医療機関との密な連携により支援に努めることができた。今後も提携医との協力と信頼のもとに、家族、ホームとの三者間の協議を持って、重度化、看取り支援に取り組んでいきたいとしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員ミーティングにおいて、言葉使いを始め接遇においては注意確認を常にしている。排泄に関する配慮として、その方の尊厳を重んじ守ることを念頭に、出来る限り能力に応じて自己処理していただきながら支援に努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	健康状態など配慮が特に必要な方もおられ、ゆっくりとしたその方の暮らしのペースが守られるよう個別の支援もしている。例えば、バイタルチェックをしながら、状態がいい時にはレクリエーションを皆と楽しんでいただくようにしている。		

グループホーム くれも

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手作りのランチョンマットに箸置きやセッティングは食卓に家庭的な豊かさや潤いを感じられ、そのセットも入居者の役割としての確に各自の箸を置かれ準備に動まれている。牛蒡のささがきや筍の皮むきなど食材の下拵えもお手伝いいただいている。手作りをモットーにおせち料理など特別な行事食にも力を入れており、入居者はもちろん敬老の日に家族が招かれた折にも好評を得ている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回、2ユニット交互にとなっているが、入居者の希望、状態に合わせて柔軟な支援をおこなっている。2つある浴室のうち、機能性を考慮して現在1つしか使用していないが、近々使用中の浴室にリフトを導入することとしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来ることに能力を発揮して頂くことを大切な支援として、掃除箇所を各入居者に割り当てての雑巾がけや、花瓶の花の水換え、洗面所の掃除、洗濯物たたみと毎日お手伝いいただいている。楽しみ事も、生活歴を活かし、趣味の継続がなされており、編み物、裁縫、読書、木工を楽しまれ、花札、レクリエーションも共に楽しんでおられる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣地域は道が狭く交通量も少なくないという状況から安全性に配慮して、ホーム敷地内及び周辺を散歩している。職員と共に車で買い物に出かけることもある。年に数回は全員揃っての外出を計画、今年度はリフト付き車両も購入しており、年に1回恒例のホテルでの夕食を含めた遠出の外出などを入居者は楽しみにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中施錠されることはなく玄関ドアは常時開放されており、訪れる家族、近隣の外来者にとっても開放的で安心感と親しみやすさを感じられる。もちろん安全性は配慮しており、職員は入居者の外出のサインを見逃さず見守りによる支援を行ない、隣接のデイサービス施設職員の見守りも得ることができている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年3回、消防署立会いのもと入居者職員共に火災避難訓練を実施している。昨年外部評価に伴い地震時の防災マニュアルを消防署指導のもとに、迅速に作成し、職員は夜勤時に繰り返し目を通すことを心がけ備えに努めている。		

グループホーム くれも

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主菜、副菜の栄養バランスに十分に配慮しながら献立をたてている。医師の指導をあおぎながら、食事量、減塩の配慮など個々の疾患に対応もなされている。水分摂取は1日1,500ccを目安に摂っていただく様に、毎食時、食間、入浴後と勤めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間全てにおいて、清掃、換気が行き届き快適な環境づくりへの努力がうかがえる。リビングには雛飾りが飾られ、各所に活けられた花と共に季節感と生活の潤いに配慮されている。季節柄、加湿器も置かれていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのベッドは、その方の状態に応じて電動ベッドを設置している。持ち込みの家具、調度品は多く、箆笥、鏡台、家族の写真など馴染みのものに加えて、職員手作りの品物もあり、温かなその人らしい部屋作りの支援がなされている。		